

2023年7月12日

株式会社ACSL

## ACSL、Hepta Group Airborne OÜ との欧州及び南米市場の点検用途での ドローン導入に関する戦略提携覚書（MOU）締結

－ 2年間で300台以上のドローンを送電線点検やその他の点検用途において導入を目指すことで合意－

- ACSLは、2023年7月12日に、エストニアに拠点を置く Hepta Group Airborne OÜ との間で、欧州及び南米市場における送電線点検用途でのドローンの導入に関する戦略提携覚書を締結
- 今後2年間で300台以上のドローンを送電線点検やその他の点検用途において導入を目指すことで合意
- 本MOU締結により、ACSLは、新たな海外市場である欧州及び南米市場への展開を加速

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：鷲谷聡之、以下、ACSL）は、2023年7月12日に、エストニアに拠点を置く Hepta Group Airborne OÜ（以下、Hepta Airborne）との間で、欧州及び南米市場における送電線点検用途でのドローンの導入に関する戦略提携覚書（以下、MOU）を締結しましたので、お知らせいたします。

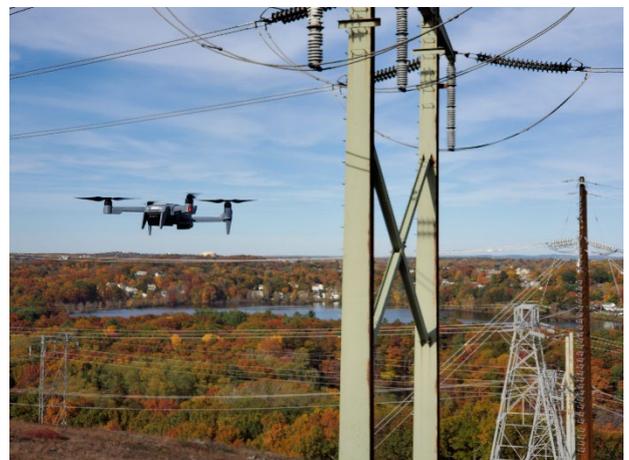
本MOU締結により、ACSLは、新たな海外市場である欧州及び南米市場への展開を加速させていただきます。

### ■Hepta Airborne との MOU 締結について

当社は、「技術を通じて、人々をもっと大切なことへ」というミッションのもと、「最先端のロボティクス技術を追求し、社会インフラに革命を」というビジョンを掲げ、独自開発の自律制御技術を始めたロボティクス技術を追求し、それらを利用したドローン等の社会実装により、ミッション・ビジョンの実現を通じて、危険で厳しい仕事から人々を開放し社会の持続可能性や生産性を高めることを目指しております。

Hepta Airborne は欧州や南米市場を中心とした18か国において、インフラ企業向けにAIを搭載したデータ管理プラットフォームを展開しており、同プラットフォームは毎月3,000kmの送電線点検に利用されております。

送電線点検における費用や工数、危険な作業の低減は、日本のみならず、Hepta Airborne が事業を展開している欧州や南米においても喫緊の課題となっております。ACSLとHepta Airborneはこの社会課題の解決に向け、今後2年間で300台以上のドローンを送電線点検やその他の点検用途において導入を目指すことで合意いたしました。



ACSLドローンによる送電線点検イメージ

今後、Hepta Airborne の欧州や南米市場での展開にあたり、送電線点検における情報共有を行うとともに、当社からドローン機体やその部品を提供し、欧州や南米での点検用途でのドローン活用の展開を進めてまいります。

【株式会社 A C S L について】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S L は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

以 上